

菌類研究会・観察会報告書

観察場所	京都 宝ヶ池公園
観察日	2025年 4月13日 (日)
観察時間	10時00分～14時30分
天候	雨
参加人数 総数19名 (会員18名) (実習生1名)	浅井清子、板倉豊、大下弘志、岡本哲生、木村哲子、香西徳治、古賀健一、住川章雄、高屋朋子、田中靖子、土佐洋志、中嶋淳子、畑中俊美、樋口誓子、平澤一男、本条由希子、渡邊優子、堀香子、願野マユミ (実習生)
講師	丸山健一郎先生
観察会担当者	浅井、板倉、木村、平澤、堀
<u>観察したきのこ (総数25種)</u> ・ 早春のきのこのオオセミタケ、トガリアミガサタケ、ツバキキンカクチャワシタケが今年も観察できた。オオセミタケを新入会員と共に協力して掘り出し、その難しさや掘り上げた時の感動を味わってもらった。 ・ 子囊菌は8種観察できたが、例年に比べると個体数が少なかった。 ・ 丸山先生からマツノハフルイビョウキンという松葉に付く極小の黒い子囊菌を教えて頂いたのが印象的だった。 ・ イグチ科は観察できなかった。 ・ 2日前に降った雨は十分ではなかったようで、きのこの発生は全体的に少なかったが、要所ごとに丸山先生の詳しい説明があり、大変効果的な学習ができた。(観察きのこの詳細は別紙参照)	
<u>特記事項</u> ・ 桜は見頃もすぎ、雨の影響もあって、園内は人出が少なく、きのこ観察がスムーズに進行できた。 ・ 丸山先生が顕微鏡を持参してくださり、昼食後子囊菌の胞子を見せて頂くことができた。 ・ 川の右岸は従来朽木が多く、観察地として適当だったが倒木の整理が進み、発生数が少なかった。今後もきのこの発生場所が変化する可能性があるようだ。	
下見会 (新入会員学習 会を兼ねる)	(実施日) 4月10日 (木) (新入会員参加者) 山田 (旧会員参加者) 浅井、板倉、木村、住川、平澤、堀
報告書作成者	堀 香子
作成年月日	2025年 4月 16日

(敬称略)